

厚紙、シール、ラベル、型抜きの多種少量生産を一台で完結 トヨテック自動給紙付きカッティングプロッター「DG5070/Plus」で市場拡大

白山印刷株式会社

本社：東京都台東区台東1丁目27番10号
第2成瀬秋葉原ビル3階

社長：小林剛氏

TEL 03-5817-4381

〈八潮第1工場〉

埼玉県八潮市大曾根1321

TEL 048-998-7871

〈八潮第2工場〉

埼玉県八潮市木曾根706-1

TEL 048-997-4531

〈八潮第3工場〉

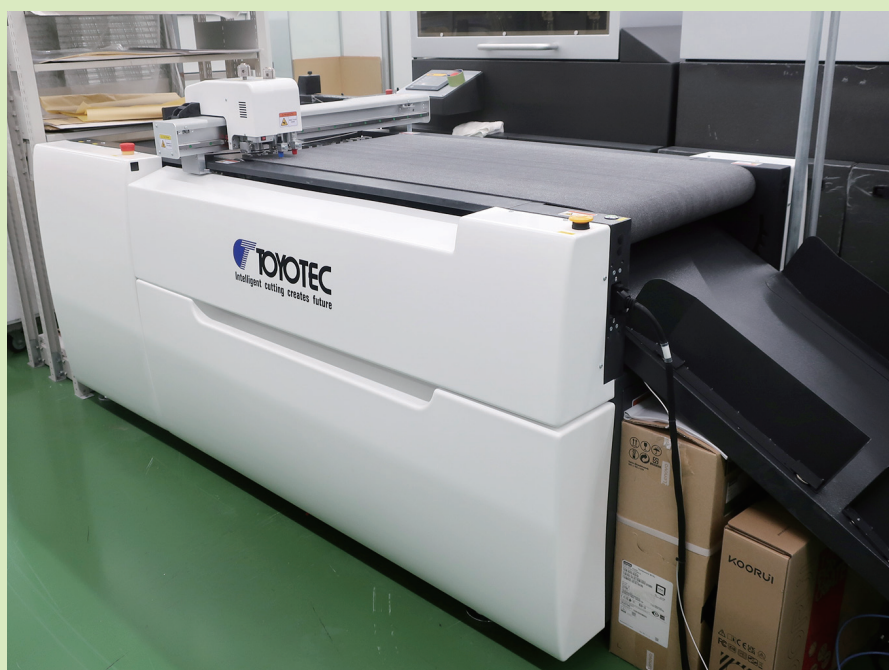
埼玉県八潮市大曾根1272-1

TEL 048-954-6241



白山印刷八潮第3工場

コールドフォイル、UVオフセット、ホログラム、エンボス加工、粘着加工、デジタル箔など特殊印刷を得意とする白山印刷株式会社（小林剛社長）は、2022年12月にトヨテックのカッティングプロッター「DG5070/Plus」を導入した。B2相当サイズ（530×750mm）のシール、ラベル、コートボール等の紙器を自動給紙、カット、排出処理を全自動で行うことができ、6mmまでの各種ボードや硬い樹脂板のカットも連続処理ができる。一台で全ての加工を行い、小ロット付加価値印刷物を拡大している。



トヨテックのカッティングプロッター「DG5070/Plus」

特殊印刷のオンリーワン企業 デジタル加飾から加工まで

白山印刷は1969年創業、東京都台東区に本社、埼玉県八潮市大曾根に営業、生産工場、技術開発部門を集約する。埼玉県八潮市大曾根の生産部門はUV印刷の第一工場、加工・製本部門の第二工場、特殊印刷、特殊加飾、デジタル印刷、デジタル加飾、粘着加工のグループ会社のパイソ株式会社と開発部門の第三工場を持ち、グループ会社を含めて従業員100名で構成される。

営業部イノベーション推進課長の田辺友浩氏は「白山印刷は特殊印刷のオンリーワン企業として印刷会社から高い評価をいただいています。創業当初から菊半裁

の特殊印刷の様々な技術開発に取り組み、粘着加工も特徴としてきました。今回、特殊印刷の加工の生産性を高め、コストカットを実現するためにトヨテックのカッティングプロッター「DG5070/Plus」を導入しました。これまでの加工はそれぞれ異なるカッティング方式を用意する必要がありました。特にデジタル加飾システムの「Scodix」の厚盛加工は、裁断の



カッティングプロッター-DG5070/Plusで裁断



デジタル加飾機「Scodix」

ために抜型を用意しなければなりません。加工専門の第二工場に送る必要があり、加工に手間とコストが発生していました。カッティングプロッター「DG5070/Plus」はこれらの課題を全て解決し、一つの工場ですべての工程を完了できるようになりました。小ロット印刷の高付加価値市場を拡大していきます」と導入のメリットを述べている。

トヨタテックのカッティングプロッター「DG5070/Plus」はB2相当サイズ(530×750mm)のシール、ラベル、コートボール等の加工に対応し、最大5箇所(トンボ)を自動検出し、カッティング位置の補正を行うことができ、精度の高いカットを実現する。

電動振動刃モデルは6mm厚みまで対応しており、幅広いサイズの切断が可能で、自動給紙も最大120mmまでのペーパーセットができるため、紙の補給のための手間も少ない。

サンプル作成に「型」が不要 高生産低コストを重視

表面加工、特殊加工を得意とする同社では、多種多様な加工を行っている。トヨタテックのカッティングプロッターの導入はシール、ラベル、紙等のサンプルの作成が一台で可能、半抜き、全抜き加工



白山印刷の田辺課長(左)と遠藤係長

の生産性を高めた。特にデジタル加飾システム「Scodix」の厚盛加工は、通常の断裁での対応が難しく、加工に特化した第二工場で行っていた。

トヨタテックの「DG5070/Plus」はCCDカメラで最大5箇所(トンボ)を自動検出し、カッティング位置の補正を行うことで精度の高いカットが可能となる。また、多様な加工が1台で行えるようになったため、サンプル作成を低コストで行えるようになった。

また、「DG5070/Plus」の紙の自動給紙機能は省人化と生産性向上を実現した。これまでのカッティングプロッターは、紙のセットなどの操作のために人が付きっきりになっていたが、「DG5070/Plus」は自動給紙、カット、排出処理を全自動で行うことができるため、人員コストの削減にも貢献している。

デジタル加飾システム「Scodix」と「DG5070/Plus」で小ロット高付加価値印刷の市場を開拓

同社では小ロットのデジタル加工市場の開拓を進めている。オフセット印刷と加飾用のデジタル加飾機「Scodix」とデジタル印刷機HPIndigoでデジタル印刷の高付加価値市場を開拓している。

「DG5070/Plus」によって、サンプルの作成がその場で行えるようになり、持ち込まれたデータを出力してその場でサンプルを作成できるようになった。

完成品をその場で微調整を行うこともできることから、今後は「DG5070/Plus」により印刷から最終製品まで生産できる強みを生かして、小ロット高付加価値需要を開拓していく。